

「人種差別」について

今年4年に1度のオリンピック・パラリンピックが開催された年であり、日本選手団においても好成績を残し、嬉しく思っています。

オリンピック・パラリンピックは様々な国家、人種によって共通のルールをもって公平公正に競われるスポーツの祭典ですが、残念なことにそういった場でも平然と「人種差別」があることを皆さんはご存じでしょうか。

例えば2012年ロンドンオリンピック女子体操の個人総合で金メダルを獲得したガブリエ

ル・ダグラス選手、彼女は表彰式の後のインタビューで「金メダルを初めてとったアフリカ系アメリカ人」と記者から言われていました。対して彼女は「そんなことは、考えてもみなかった」と答えています。このことには黒人である彼女が優勝したことに対する記者の偏見、差別の心が垣間見えます。これらの種目は衣装などにお金がかかるので貧しい階層には手が届かなかった歴史と、格差社会と貧困問題の観点から取り上げたいようです。そういった心理が記者にはあったのではないのでしょうか。

何故差別が当たり前のよう起こってしまうのか、差別の根底には「誤解、無知、偏見」といった心理があるように思われます。

今、本村においても主に観光を目的に多くの外国籍の方々が来村されます。そういった方々に対し、安易に偏見の目や誤解をせず、良好な関係を築き、相互理解につなげて国際的な視点を持つことを心がけることで、人種差別の解消にもつながっていくのだと考えます。

東秩父村役場総務課

人権担当

我が家のニューフェイス



神田 青依ちゃん
あおい

生年月日 平成27年10月15日
(大字大内沢)

お父さん 高 旦 さん
お母さん 麻 美 さん

はじめまして！あおいです♪
3兄妹の末っ子で、お兄ちゃん2人にいっぱい遊んでもらってます。
今、あんよの練習中。
くっくをはいて、いろんなところにお出かけしたいな！

東秩父を全力応援！

地域おこし協力隊通信



10月30日(日)は和紙の里にてリニューアルイベントを開催します！

東秩父の和紙に触れて、和紙をもっと楽しんでもらいたいということで、和紙を使った体験コーナーを用意しました！

第1弾は染め紙を使ったコインケース作りです。教えてくれるのは和紙を愛する漉き手さんや作家さんです。アメやチョコなどのお菓子入れにしてもかわいいですよ★

好きな色を選んで作れるので、自分だけの素敵な作品を作ってみませんか？(^^)

他にも紙漉き体験や染め紙体験、イベント限定企画もさまざま準備してお待ちしています。

イベント開始は10時半からとなります。その他詳細は9ページをご覧ください。

◀ 手のひらサイズの和紙コインケース

